

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	ヘパリン起因性血小板減少症診断の最適 assay の確立 (同上)
研究期間	2018 年 4 月 ～ 2021 年 3 月
研究機関名	国立循環器病研究センター
研究責任者職氏名	部長 宮田茂樹

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明

- 研究の目的・意義・予測される研究の成果等
ヘパリン起因性血小板減少症という病気は、抗凝固薬のヘパリンの投与に合併して、血小板第 4 因子とヘパリンの複合体に対する抗体産生を引き起こし、この抗体が血小板を活性化させることでおよそ半数に血栓症を発症する診断が難しい病気です。この研究で新しい診断方法が開発されると、この病気で苦しむ人達に適切な治療を行い、助けることができる確率が上がります。
- 使用する献血血液等の種類・情報の項目
献血血液等の種類：血小板製剤（規格外）
献血血液等の情報：なし
- 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名
共同研究機関はありません。
- 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》
血小板製剤から、血小板のヘパリン起因性血小板減少症患者さんの持つ抗体に対する反応を良くする蛋白質を精製し、それを加えることで診断の効率が上がるかどうかを調査します。
- 献血血液等の使用への同意の撤回について
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。
- 上記 5 を受け付ける方法
「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号	30J0043
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	国立循環器病研究センター
担当者	前田琢磨
電話	06-6833-5012（内線 8083）
Mail	takuma@ncvc.go.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。